

目的は学舎のPR

のつけから、穴生学舎のPRだといわんばかりの志村美成指導員のナレーションで、今年の「オータムコレクション」は華やかに幕を開けた。

昨年に続いて、これが二回目。ただ、昨年と違ったのは、舞台が学舎3階の大会議室からドームの特設ステージに変わったこと。広くなつた客席には、大勢の観客が集まつた。

出演者も、昨年とは様変わりした。昨年は初めての事とあつて、スタッフが日星を付けた個人を説得して出演してもらった。今年は、自薦他薦の21名が名乗り出た。男性10名、女性11名。ただ、志願者

が「健康系」のコースに偏り、「各コースから、万遍なく」という、事務局の思惑は外れた。

モンゴルの晴着も

トップバッターは、ちよいワル親父風の才

が登場。客席を万遍なく、和装で現れた宮崎康さん、森田伸明さん(いずれも健スポーツ)吉原瞬代さん(健康管理)の三人。吉原さんのちらりと見返る姿によぼさがあふれた。

オータムコレクション・ファイル

出演者の偏りが気がかり

理想は各コース万遍なく

レンジのストールが立つ原田保さん(国際情報)と白を基調にした清楚な装いの町田澄子さん(文化伝承)。

続いて、がらりと趣を変えて、モンゴルの民族衣装の晴着で大内美智子さん、小瀧逸郎さん(いずれもアジアアーティスト)が登場。同じコースの堤加代子さんとペアを組んでの出演。

締めは兼田美智子さん、吉松孝代さん(いずれも健

スの石田正一さんが16

年間のインドネシア滞在中にコツコツ集めたもの。まさに「お宝」。

ほかにも、おはじきゲームや世界無形文化財に登録された影絵芝居に使われる細かな切り絵人形ワヤン・クリなど、異国情緒がいっぱい。これは、同コースの石田正一さんが16年間のインドネシア滞在中にコツコツ集めたもの。まさに「お宝」。

アーティスト)が、ひしめき合うようになら【左の写真】なかでも「学舎汁」のクッキンボランティアは、通算800杯を売り上げて過去最高を記録。平均年齢78歳の頑張りは、お見事。

という、松尾温大学実行委員(健康管理)の苦心のアイデア。メ

ダルは催事にかかる

人が、光井敏弘さん(健サボ)。同じコ

ースの尾尾さん(左の写真)が選手の首にメダルを【左の写真】。尾尾さんが選手の首にメダルを【左の写真】。

ゴルフウェアーからソフトバンクホークスの黒のユニフォームに早替わりして沸かせたのが、光井敏弘さん(健サボ)。同じコ

ースの尾尾さん(左の写真)は、そのうちマンネ

リの声も出てこよう。

それはそれでよい。長く続けば、やがて伝統になる。来年こそ、溢れかえるほどの出演希望者で、事務局に嬉しい悲鳴を上げさせてみたいものだ。

「オータムコレクション」は続していくだろうが、そのうちマンネ

リの声も出てこよう。

それはそれでよい。長く続けば、やがて伝